

令和元年度青少年「平和と交流」支援事業（ヒロシマ平和行政実務者研修） アンケート集計結果

受講者（回答者） 14名

1 広島市の平和の取組 （講師：平和推進課職員）

評価	1	2	3	4	5	平均
時間（短⇔長）	1	2	11			2.7
内容（悪⇔良）		1	2	6	5	4.1

コメント

- ・3つの軸(守り・広め・伝える)を中心に平和の取組を実施しているということだったので、被爆地から遠く戦争遺跡もない本市では、どんな軸を定めて取り組んでいくことができるか、しっかり考えたいと思いました。
- ・研修会を始める上で、導入として良かった。また、伝承者講話等の質問もあったことから、市と首長会議等で調整し、関連説明のスケジュールを連続させたほうがいいかもしれません。
- ・時間が少し短かったと感じました。もっとお話を聞きたかったです。
- ・広島市がどのような形で平和事業に取り組んでいるのかわかり、勉強になりました。
- ・広島市の「平和への思い」が非常によく伝わりました。
- ・広島市の取組みは多様で幅広く、素晴らしいと思いました。本市でも毎夏“原爆展”を独自で実施しているので、参考にさせていただきます。
- ・ためになるお話だったけれど、早口かつパワーポイントの切替が少し早かったのが残念。
- ・分かりやすい説明でした。PPの資料のコピーが欲しかったです。
- ・広島市がどのような取組を行っているのかわかり、その後の研修でも「あの時聞いた話だな」と理解することができた。
- ・最初に広島市が実施している平和行政の概略を聞いて、自分の自治体には何が必要なのか方向性が見えました。

広島市の平和の取組

日時:1/30(木) 9:15~9:30(15分間)

講師:広島市平和推進課課長補佐 坂本 優治



2 平和学習講座

(講師：平和学習講座講師)

評 価	1	2	3	4	5	平均
難 易 度 (易⇄難)		2	12			2.9
時 間 (短⇄長)			14			3
総合評価 (悪⇄良)				2	12	4.9

コメント

- ・平和事業の実務者として、広島の実相を詳しく学ぶことができ良かったです。文字だけではどうしても実感がわかないと思いますが、途中で流れた実験の映像でその威力の恐ろしさを改めて感じ、投下された瞬間のことを考えると胸が苦しくなりました。
- ・平和学習講話を初めて聴きましたが、当市でも小中学生の平和学習の導入としては大変有意義でした。講師の派遣依頼や資料等、今後の活用を検討したいと思います。
- ・被爆の実相についてよく理解できました。
- ・説明や映像など、内容にすごく引きこまれ、集中してお聞きすることができました。“微力だけれど、無力ではない”という言葉は印象に残っています。
- ・非常に分かりやすく、子どもたちにも飽きさせないような工夫を感じました。
- ・小学生向けに広島の実相の概要についてパワーポイント等を使い分かりやすく伝える工夫がされ、小中学校の戦争体験語り継ぎの授業の導入部分の説明時に参考になると感じました。
- ・伝えるのが難しい原爆の仕組みを小学生でも分かりやすく説明頂けたので、ぜひ本市でも行って頂きたいと思った。
- ・小学校高学年向けの講座で原爆による被害の概要の理解が深まりました。
- ・小学校高学年向けの講座ということだったが、とてもわかりやすい内容だったため、知識のない自分でも原爆被害の概要を知ることができた。
- ・たいへんわかりやすく、本市の小学生や中学生への派遣を考えていきたいです。
- ・小学生高学年向けということで内容は易しかったですが、原爆のしくみは新しく学べ、折り鶴の再生紙を利用した卒業証書は素晴らしいと思いました。
- ・原爆被害の概要についてとても分かりやすかった。レベル的にも適切でした。
- ・小学校高学年に説明する内容との事であったが、映像や絵を多く使っており、分かりやすかった。大人への説明でも十分使える内容であると思った。

平和学習講座

日時:1/30(木) 9:30~10:15(45分間)

講師:広島平和記念資料館

平和学習講座講師 宇佐川 弘子



3 平和記念資料館見学

評 価	1	2	3	4	5	平均
時 間 (短⇨長)		4	9	1		2.8
内 容 (悪⇨良)		1		2	11	4.6

コメント

- ・一般の来館者もいる中では難しいかもしれないが、1人で見るだけでは気づけないこともあるのでガイドのような方に展示を説明していただけると、更に知識も深まるのではないかと思います。見学時間が少し短く後の展示(核についてなど)をゆっくり見る余裕がありませんでした。
- ・平和実務担当者でも見学したことのない方もいると思いますので、見学時間は必要だと思います。また、見学は自由行動でしたが、職員の方から途中でお話を聞かせていただいた内容も大変参考となったため、解説者や音声ガイド等も使わせていただくと、なお良いかと思います。
- ・遺品のキャプションにある言葉や手紙にグッときました。自分の死を覚悟し、家族を思う気持ちが特に印象的でした。
- ・後半の方、少しかけ足で見ることになってしまったため、また後日見学したいと感じましたが、プログラム上はちょうどよい時間だったと感じます。
- ・時間もちょうどよく、じっくりと見学することができました。何度来ても勉強になり、心に刺さるものがありました。
- ・初めて平和記念資料館を訪れました。来年の夏にも随行で訪問予定ですが、冬の空いている時期にゆっくり見学できて良かったです。実相部分をじっくり見てしまったので、原子爆弾が開発されるまでの説明や市の復興の道のり部分を見る時間がなくなりました。これは私個人のペース配分の問題です。また訪問したときに残りの部分を見学したいと思います。
- ・前回見学した際は改修中であった時、今回きれいになった資料館をじっくり見ることができて良かったです。写真などビジュアル的なものがインパクトがあり、原爆の威力や恐ろしさがダイレクトに伝わりました。
- ・初めて資料館へ入ったが、学校の授業だけでは知ることができない原爆被害の詳細や、被害にあわれた方の状況を知ることができ、自分の中で深く考えることができた。
- ・何度か資料館に来館したことがあるが、毎回原爆被害の恐ろしさを感じます。小学生には少しつらい経験かもしれませんが、修学旅行等で学んでもらいたいと思いました。
- ・職員の方が要所で説明してくださって、分かりやすかったです。対話ノートの内容を見て世界中の色々な人が平和を願っていることを実感しました。
- ・見学前に平和学習講座で基礎知識を学び、見学という流れはとても良かったです。
- ・資料の展示や説明書き、映像などとても分かりやすかった。私はじっくり見すぎて時間が足りなかったが、見学時間はちょうどよいと思う。また日をあらためて見学に行きたい。

平和記念資料館見学

日時:1/30(木) 10:30~12:00(1時間30分)

要所で概要説明後、自由見学



4 被爆体験講話

(講師：被爆体験証言者)

評価	1	2	3	4	5	平均
時間 (短⇄長)		2	10	2		3
内容 (悪⇄良)			1	1	12	4.8

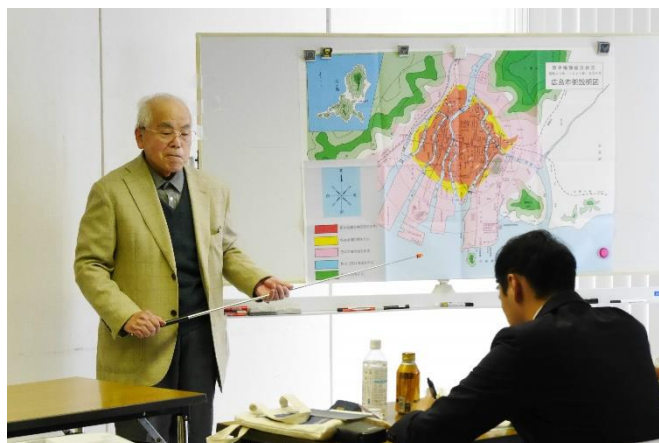
コメント

- ・何度か被爆体験講話を聞いたことがありましたが、資料館に残っていないような被爆後の街の様子や子どもたちの生き方について聞いたのは初めてだったので、とても印象的でした。中でも被爆しなかったのに、家族もなくし、引き取り手がいなかったせいで亡くなってしまった子どもたちの話がとても辛く、残しておくべき記憶だと思いました。
- ・大変貴重なお話を聞かせていただき、平和推進にあたり意義の再確認ができた。
- ・ご自身の経験を踏まえ、生きるとはどういうことなのかをお話くださり、考えさせられました。身寄りのない子たちが、誰にも知られず大勢亡くなったというお話を聞き悲しくなりました。
- ・体験者から直接お話を聞ける機会はなかなかないので、貴重なお話を伺えよかったです。
- ・教科書やテレビでは学ぶことができない、しかし決してなかったことにしてはならないお話を聞くことができ、非常に貴重な時間でした。
- ・8月6日以降復興に至るまでの広島市民の様子や、孤児のその後の生活、被爆者への差別の問題など初めて知ることも多かったので大変勉強になりました。また、川本さんご本人からお話を聞かせていただく機会は大変貴重でした。
- ・記録に残らなかった「原爆孤児」の話はとても興味深かった。これこそ伝えていかなくてはいけないヒロシマだと思った。
- ・昔、修学旅行で広島へ来た時は、被爆体験講話はプログラムになかった為、初めて生の言葉で体験を聞きました。体験者が減少する中で、貴重なお話を聞くことができよかったです。
- ・資料館にも残っていない、原爆がもたらした被害について知ることができ、被爆を直接していなくても生きられなかった人たちがいるということ学んだ。貴重なお話を直接聞け、本当に良かった。
- ・原爆被害から復興について、実際生き抜いてきた方の話を聞け、大変いい体験になった。他の方の体験も聞きたかったため、難しいと思いますが、複数人で行ってもらえると嬉しいです。
- ・資料館にはない孤児の話は大変貴重ななと感じました。原爆によって多くの人の人生が変わり、生きるために何でもするという話はとても心に残りました。
- ・被爆体験者からの話は、重みがあり貴重な時間でした。高齢により長い時間は対応が難しい等時間の制約があるようですが、もう少しお話をききたかったです。
- ・被爆体験者から当時の事を聞くことのできる貴重な体験であった。講話者の「記録に残らず死んでいった者がいることを知ってほしい」という言葉が印象的であった。

被爆体験講話

日時:1/30(木) 13:00~14:00(1時間)

講師:被爆体験証言者 川本 省三



5 平和推進プログラムと各種資料の貸出

評価	1	2	3	4	5	平均
時間 (短⇄長)		2	12			2.9
内容 (悪⇄良)			2	5	7	4.4

コメント

- ・ピースクラブ OG のお2人の話を聞き、若い人の力はすごいなと思いました。本市でも平和大使として毎年中学生を被爆地に派遣しており、継続した活動ができないか検討したいと思いました。啓発課の方には自治体で活用できる様々な資料を紹介いただき活用してみたいです。
- ・推進されている活動内容等、ご教示いただき参考となりました。2日目の平和連帯推進課様のお話の内容ともかぶるところがあると思いますので、連動しているのが良いと思いました。
- ・毎年、区の平和展でパネルと映像資料をお借りしています。被爆体験伝承者派遣を活用させていただくことを検討しています。
- ・思っていた以上に貸出しているものが多く、お借りして、何か事業に生かすことはできないかと考えさせられました。
- ・本市の平和啓発事業に活用出来そうなものが数多くあり、非常に参考になりました。
- ・今後活用できそうな資料を沢山いただき大変助かります。広島平和大使派遣事業(子ども)の事前学習の際に大活躍しそうです。語り継ぎの伝承者の育成などの手法も勉強になりました。
- ・色々な資料が沢山あると感じました。被爆者の方への配慮がされている点がとても印象的で素晴らしいと思います。
- ・平和を推進するために国内だけでなく国外でもどのような取組を行っているかが知れて良かった。事業廃止まで検討したピースクラブについて、どうしても残したいという強い思いで立て直したのはあきらめずに続けていけば改善されていくという例として知れて良かった。
- ・今後の事業に活用していきたいです。
- ・啓発していくにはどうしたらいいのか、様々な資料を貸していただける事を知れて、積極的に利用を考えようと思います。
- ・各自治体で活用できるメニューなのでとても参考になりました。
- ・写真パネルや DVD、学習セットなど様々な貸出資料があり、今後利用を検討したい。

平和推進プログラムと各種貸出資料①

日時:1/30(木) 14:00～14:30(30分間)

講師:平和記念資料館啓発課 主事 杉田 正隆

平和推進プログラムと各種貸出資料②

日時:1/31(金) 11:00～12:30(1時間30分)

講師:広島市観光政策部職員、平和連帯推進課長、平和首長会議・2020ビジョン推進課長、中・高校生ピースクラブ OG(中村園実、岩本理沙)



6 慰霊碑献花とフィールドワーク

評価	1	2	3	4	5	平均
時間 (短⇄長)			12	2		3.1
内容 (悪⇄良)				4	10	4.7

コメント

- ・記念碑や被爆遺跡など、詳しい説明と一緒に案内していただいたので、知識が深まりました。また、被爆前の写真と比べることで、当時どのような街並でどのような暮らしをしていたのかを想像することができたので、とても良かったです。
- ・ガイド無しでは行かないようなところもご案内いただき、勉強になりました。時季も閑散期と重なり、見やすかったと思います。
- ・平和記念式典が行われている場所で献花させていただき、貴重な経験でした。平和記念公園は広島のみなさんの思いが集まった、特別な場所だと体感しました。
- ・実際に歩いて見ることが出来良かった。職員の方の説明も勉強になりました。
- ・被害樹木の親木を見ることが出来、良かった。解説も非常に分かりやすかったです。
- ・アオギリとその歌の取り組みや各種慰霊碑とその説明など大変分かりやすかったです。本市の子どもと訪問した際、同様のフィールドワークを実施したいと思います。
- ・職員の方が随時説明頂けたので、見て回るだけでは分からないことを知れて良かった。冬場のため少し寒かったです。
- ・1人では周ることができないと思うので、碑など効率よく見学できた。
- ・マップだけを持って碑をめぐるよりも、詳しい人に説明をしてもらいながらめぐる方がより深く理解もできるし、詳しい人にしかわからない知識も聞けるし、とても良かったと思う。
- ・丁寧に説明いただき、たいへん勉強になりました。
- ・午前の部で聞いたことを実際に外で感じることができ、昔の写真と比較できて分かりやすかったです。当時の地面の高さが今よりも大分低かった事には驚きました。
- ・公園内の説明や献花までさせていただき、貴重な時間でした。今年は比較的気温が高いので良かったです。悪天候の場合は、時間短縮も必要かもしれません。
- ・平和記念公園内のモニュメントや施設を詳しく説明いただき、分かりやすかった。

慰霊碑献花とフィールドワーク

日時:1/30(木) 14:30~16:00(1時間30分)

視察先:慰霊碑参拝・献花、原爆の子の像、慈仙寺跡、韓国人原爆犠牲者慰霊碑、平和の鐘、原爆供養塔、原爆ドーム、爆心地(島外科)、追悼平和祈念館、峠三吉詩碑、被爆アオギリ



7 被爆体験記朗読会

評価	1	2	3	4	5	平均
時間 (短⇄長)		1	12	1		3
内容 (悪⇄良)				1	13	5.0

コメント

- ・朗読会は初めて経験しましたが、想像していた以上に心にくるものがありました。短い言葉の中に込められた様々な思いを感じ、朗読している途中で言葉に詰まりそうになりました。小学生など小さい時に参加し、純粋な心でたくさんのかんじ取ってほしいと思いました。
- ・初めて朗読会を聴かせていただき、ぜひ取り入れたい内容の一つと感じました。
- ・詩から想像することの大切さを学びました。
- ・このような活動があることを初めて知り、お聞きすることができ、よかったです。体験者の方が書かれた詞や手記には胸をうたれました。
- ・朗読ボランティアの方々の、「伝えたい」という思いが強く伝わりました。
- ・戦争を体験した方の高齢化が進み、語り継ぎの授業実施が難しくなるなか、被爆体験朗読会の開催は、子どもたちに戦争と平和について考える有効な機会になると思いました。朗読会の開催キットやマニュアルの貸し出しもあるとのことで、市民ボランティアの方に取り組んでいただくのいいなと思いました。また、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館のことは知らなかったもので、勉強になりました。
- ・文字で見るよりも言葉で耳に入れる方が頭に残りやすいので、朗読が伝える手段として有効であることが分かった。
- ・朗読していただくのも大変心に響いたが、自分で朗読してみたら、子供を亡くした親の無念さを思い、自分の子供の事と重ねてしまい、涙が出ました。
- ・目だけで情報を得るよりも、目と耳から情報を得る方がより伝わりやすいとわかった。(指名された時に朗読をすることができなくて大変申し訳ないことをしたと思っています…)
- ・声で被爆について考えていただくいい機会となると思います。来年度、本市では朗読会を考えておりぜひ実施したいと思いました。
- ・詩を通して当時の惨状や、その時の人々の感情を痛烈に感じ、途中涙が出そうになった。
- ・初めに映像を見て、その後朗読を聴くと、その状況が想像できとても心に響きました。
- ・朗読された体験記に込められた被爆者たちの思いが伝わり、貴重な経験となった。

被爆体験記朗読会（朗読会、朗読会の概要説明）

日時:1/31(金) 9:00~10:00(1時間)

講師:国立広島原爆死没者追悼平和祈念館朗読ボランティア



8 特別講演「被爆と復興—何をどう伝えるか」

評価	1	2	3	4	5	平均
難易度 (易⇄難)			11	2	1	3.3
時間 (短⇄長)		2	11	1		2.9
内容 (悪⇄良)			1	6	7	4.4

コメント

- ・資料館の見学や被爆講話では学ぶことのできない、戦争の背景や復興について学ぶことができました。広く被爆の実相を学ぶことも大切ですが、その中の個人の物語に焦点を当てた方が、戦争の悲惨さを、より強く感じる事ができる気がしました。
- ・体験者の方や職員の方とは違った目線での考察や資料があり、参考となりました。難しいかもしれませんが、もし大学と連携した活動・事業等(資料の貸し出しや情報提供など)があれば内容に取り入れていただければと思いました。
- ・平和のみならず、物事を考える時の方向性の重要性を学びました。
- ・これまでのプログラムよりも、客観的に戦争を捉えられたように思います。そのように捉え、考えることも大切なのだろうと感じました。
- ・「復興の裏で、復興から取り残された人がいる」という事実は忘れてはならないことであると感じました。
- ・この4月から平和行政の担当になりましたが、啓発イベント等の運営を担う一方で、知識的な部分に不安がありました。原爆投下までの史実や各国のヒロシマに対する認識の違いなどを学ぶことができ大変有難かったです。先生のお話は大変興味深くもっと聞きたいと思いました。
- ・歴史を紐解いて、これからを考えるとという構成が良かった。ヒロシマは海外にとっては美談(悲しい・かわいそう)だけで話せるものではないと分かった。
- ・レジュメを基に歴史的事実から論理的に説明していただいた。大変分かりやすかった。
- ・原爆が投下されるまでの過程(歴史)を知ることができて良かった。日本は「落とされた」という被害者目線になりがちだが、国外での状況や、相手の立場に立つ、目線を変えることも必要なのかもしれないと思った。
- ・原爆が広島、長崎に落とされる背景を知れてたいへん勉強になりました。
- ・登場人物が多く、内容も難しかったが、講師の先生の平和に対する熱い思いを感じた。また、各自自治体の事と地元の事をリンクさせる事や参考資料を教えていただき大変よかったです。
- ・専門的な内容で少し難しく感じました。
- ・歴史を交えた少し難しい話であったが、説明が分かりやすく、初めて聞くような事でも理解しやすかった。

特別講演「被爆と復興—何をどう伝えるか？」

日時:1/31(金) 10:00~11:00(1時間)

講師:広島市立大学広島平和研究所副所長 永井 均



9 意見交換・素案作成会

評価	1	2	3	4	5	平均
時間 (短⇄長)	1	5	6	1		2.5
内容 (悪⇄良)			3	5	5	4.2

コメント

- ・本市で抱えている問題について、他自治体のアイデアを借りながら新しい取組や、最終的に目指したい形について議論することができたので、とてもありがたいなと思うと同時に楽しく意見交換ができました。他のグループの内容も参考にしたいと思います。ただ最初の意見交換は人数が多くてなかなか発言しづらかったので、何グループかに分けて何回かグループ分けをしながらできたら、他自治体の気になる取組についてなど、もっと活発に意見交換ができたのではないかとも思いました。そしてもう少し時間がほしかったです。
- ・意見交換からグループワークにしても良かったかと思った。(時間を区切り、グループを変える等)素案作成は、各市担当者が持ち帰り、今後に生かせるかを考えて作成でき良かった。
- ・他自治体の状況を聞くことで客観的に自分の属する自治体について考えられました。
- ・意見交換は4～6人くらいに分かれ、時間で人を入れ替えたりしつつ話ができたら全体での共有は難しいかとも思いますが、話は少ししやすかったかもしれないと感じました。グループワークは他の自治体の方々の考えや意見を多く聞くことができ、勉強になりました。
- ・他自治体の取組を知ることができ、意見交換が出来非常に貴重でした。
- ・2日間の内容のふり返りや各市の取組を知る機会になりました。全国の自治体の方と意見や情報を交換したことは今後の本市の取組のヒントになりそうです。また、各市過去にどのような戦争被害があったかによって、取組内容が異なるのも興味深かったです。(空襲被害が多かったところは戦跡ツアーを開催しているなど)
- ・平和をテーマにして、各自治体の取組みや課題を聞くことができ、今後の業務の参考になった。今回の研修を通して学んだこと、取り入れたいと思ったことを最後にグループワークとして考え、形にすることができたため、研修の良い集大成になった。
- ・市町での課題を挙げていただき、その解決方法を考えた時に、思ったほど良い案が浮かばなくて申し訳なかったと思った。誰かがリーダーシップをもって進めていかないとうまくまとまらないと実感した。グループ内の市町での取組みがたくさん聞けたのは良かった。自分の市町の課題についてもいろいろな意見をいただけてありがたかった。
- ・他市町村の事例を知れるいい機会となった。また、平和事業で本市が抱える問題等を共有することができ、先進市に話を聞けるいい機会となった。
- ・自分の自治体での課題を参加者の皆さんと考えることができ、また、自分の職場や平和行政に携わってくださる方々は高齢の方が多く、自分と近い年代の人々と話し合うことができ、とても新鮮で新しい発想があり有意義でした。
- ・もう少し他の自治体の方と意見交換をしたかったです。
- ・各自治体の実施している事業を知ることができ、また、各事業について詳しく聞くことができたので大変有意義であった。

各自治体の平和の取組を活性化するための意見交換、平和推進事業の素案作成（グループワーク、発表）

日時:1/31(金) 13:30～15:00(1時間30分) 意見交換

15:00～16:45(1時間45分) 素案作成(グループワーク、発表)



10 ヒロシマ平和行政実務者研修全般

評価	1	2	3	4	5	平均
難易度 (易⇄難)			13	1		3.1
実施期間 (短⇄長)	1	1	12			2.8
実施時期 (悪⇄良)		1	1	3	9	4.4
プログラム (短⇄長)			1	6	7	4.4
総合評価 (悪⇄良)				4	10	4.7

印象に残ったプログラム

- ・被爆体験講話：6自治体
- ・被爆体験記朗読会：4自治体
- ・特別講演「被爆と復興-何をどう伝えるか?」：2自治体
- ・市長表敬訪問：2自治体
- ・若者による平和の取組：1自治体
- ・各自治体との意見交換：1自治体
- ・平和推進事業の素案作成：1自治体

研修の情報入手先

- ・平和首長会議事務局からの案内（メール）：9自治体
- ・庁内公募：2自治体
- ・平和担当部局からの推薦：3自治体

コメント

- ・この度は貴重な経験をさせていただきありがとうございました。7月～9月にかけては平和事業実務者としての仕事が多忙で、研修に参加することができなかったので、少し落ち着いているこの時期に実施していただけたことは、大変ありがたかったです。研修内容としては、基礎的なことから教えていただけたので大変勉強になりました。2日間だけでも十分学ぶことはできましたが、せっかく様々な自治体から職員が集まっているので、もっと自治体同士で話せたり、意見交換ができるような時間があると嬉しかったです。今回、各自治体の基本情報は当日に配布されましたが、事前に配布していただけると、他自治体へのアドバイスなど、準備することができるのではないかと思います。様々な視点からの研修はとても貴重で、もっとたくさんの人に経験してもらいたいと思いました。また、今回の研修で学んだことを活かして、本市でもより多くの人に平和について考える機会を提供し、今生きている当たり前の日常が、どれだけ貴重で大切なものなのかを改めて考えてもらいたいと思います。
- ・開催時期やプログラムの内容について
 - 時期はちょうどよく参加しやすかったです。(夏～秋だと区の平和事業を実施しているため)
 - 内容は非常に充実していて、有意義な時間を過ごすことができました。
 - 広島市の取組についての時間を少し長くしていただけたら幸いです。
 2日間大変お世話になりました。今後ともよろしくお願い致します。
- ・2日間の研修を通し、改めて戦争の悲惨さや平和の尊さについて学び、それを次世代へと伝えていくことの大切さに改めて気づかされました。私は主として平和事業に携わっているわけではありませんが、自分の所属課でできること、私自身でできることを考えていきたいと思っています。勉強不足で至らぬ点も多く、ご迷惑をおかけしましたが、今回の研修に参加させていただけたことに心から感謝しております。短い時間でしたが、ありがとうございました。

- ・冬開催の2日間という点は大変参加しやすかったです。夏は本市でも平和啓発のイベントが多く、この時期の開催はありがたいです。すべてのプログラムが大変勉強になりました。2日間お世話になり、ありがとうございました。
- ・事務局の方々が手厚くご配慮をしてくださり、プログラムにしっかりと集中して臨むことができました。どのプログラムも非常に参考になり、今後の本市での取組に活かすことができればと思います。夏は平和事業実施で忙しいため、今回の時期ということも担当者としては非常に有難いものでした。大変お世話になりました。ありがとうございました。
- ・今回、担当課ではなかったが、平和について何も知らないということから自分の興味として、また、自身のスキルアップとして参加しました。歴史の授業やテレビで見たようなヒロシマを実際に目で見て話を聞いて、被爆の実態や復興までの道のりの難しさを深く感じることができました。「平和とは何か」という自分のテーマを今回の研修で自分なりの答えを出すことができました。今後は私のこの経験を庁舎内に伝えていきたいと思います。開催時期・期間ともに良かったと思います。ただ、詰め込んで頂いて少し吸収できない所もあったりしたので、プログラムを1つ減らしてもいいのかなとは思っています。
- ・観光プロモーションの部分は簡単でいいです。(観光研修ではないため)大変充実した内容の2日間でした。お世話になり、ありがとうございました！
- ・今回この研修に参加させていただき、時期、期間、プログラム内容全てがとても良かったと思います。平和行政の担当者の方やその取組に関わっている方、原爆投下当時を経験されている方などたくさんの方からお話を聞いて良かったですし、聞くだけではなく実際に自分の目で見て実感することもできて、本当に貴重な体験をさせていただいたと思っています。これを自分だけで終わらせるのではなく、地元に戻って、今回学んだことを他の方たちに伝えていきます。皆さん本当にお忙しい中2日間の研修を開催していただきありがとうございました。
- ・予算の策定前(10月)までに実施をいただければ、来年度の予算にすぐ反映できると思います。平和記念式典の話を知りたい。映像などあれば参加市町村が検討しやすいと思います。
- ・開催期間をもう少し長くしていただきたいと思います。分刻みのスケジュールで原爆の実相や状況を聞いた後の気持ちの切り替えが最初は難しかったです。そのため、開催期間を長くいただき、せめて体験講話等のあとは各々で振り返る時間があったほうがいいのではないかと感じました。この度、広島市に3日間滞在させていただき、みなさんの平和に対する熱い思いに触発されこれから本市で頑張っていこうと改めて思いました。この研修に勇気を出して応募してよかったと本当に思いました。本当にありがとうございました。
- ・意見交換・素案作成の時間に、アドバイザー的に啓発課の方や平和記念館の方、ピースクラブOGなどがいてくれて、自治体職員に助言をしてくれたらよかったように感じます。2日間とても充実した研修でした。ありがとうございました。
- ・2日間という短い期間であったが、被爆の実相や平和の尊さを深く学べた大変有意義な研修であった。特に、他自治体との意見交換は、なかなかできるものではないので、とても参考になった。1点改善点を挙げるとすれば、各自治体の取組を発言した後、意見交換をするのもっと自由闊達な意見があったのではないかと考える。今回このような貴重な研修にお声かけいただき感謝する。次年度以降も参加できるよう検討したい。